

## 小児等在宅医療連携拠点事業報告

### 1 地域の小児等在宅医療が抱える課題と拠点の取り組み方針について

岡山県内におけるNICU退院児の支援環境は、県南地域においては、重症心身障害児者の入所施設が2カ所(旭川児童院と睦学園が統合された)、通所事業所が5カ所あるほか、旭川児童院において昭和42年の開院当時から在宅訪問事業を実施するなど、比較的充実した環境にある。しかし、サービスに関する情報の不足や、地域の医師等との連携が不十分であり、その解決が求められている。

一方、中山間地域である県北地域には、重症心身障害児者の通所事業所が2カ所、短期入所が3カ所あるが、県南よりは支援が手薄な状況にある。また瀬戸内海の離島にも重症心身障害児者が在住している。このような環境において在宅支援を充実する方策の検討も、同時に必要である。

これらの問題を解決するために、今年度も小児等在宅医療連携拠点事業を社会福祉法人旭川荘が岡山県の委託を受け実施した。

旭川荘療育・医療センターは、岡山県地域医療再生計画に基づき、ポストNICU機能や、地域の障害者のための総合的な外来診療・入院機能、親子入院機能等を持つ新病棟が完成した。これらの機能を充実させ医療ニーズの高い重症心身障害児(者)の在宅支援に取り組みたい。

### 2 拠点事業の立ち上げについて

社会福祉法人旭川荘において事業を実施することとし、同法人の旭川児童院 地域療育センターに拠点を設置した。実施体制と役割分担は次のとおりとした。

#### ○医師(1名)：

医療機関との連絡調整、相談支援体制の整備を行うものとした。

#### ○保健師(4名)(うち1名を専任、コーディネーターとした)

- ・コーディネーター(保健師)1名：

障害児・重症心身障害児者専門職員。電話等による個別相談、必要な家庭に対する家庭訪問を実施した。また、関係機関との連絡会、研修会の企画運営を行った。

- ・他保健師2名：

電話等による個別相談、必要な家庭に対する家庭訪問を実施した。また、関係機関との連絡会、研修会の企画運営に協力し活動した。

#### ○社会福祉士(1名)：

電話等による個別相談、必要な家庭に対する家庭訪問を実施した。また、関係機関との連絡会、研修会の企画運営に協力した。

### 3 拠点事業での取り組みについて

#### (1) 会議の開催

医療・福祉、教育、行政等の関係者による次のような会議を開催し、アンケート調査の結果等を踏まえつつ、課題の抽出と対応方針の協議を行った。

##### ① 地域移行支援会議(事業内容 ①⑦)

NICUがある病院の医師、岡山県など行政関係者および旭川荘により、NICUから地域生活への移行を希望する者に対する支援の在り方を議論した。

第1回目(平成26年6月2日) 参加者 国立病院機構岡山医療センター2人 岡山大学医学部附属病院1人 倉敷中央病院3人 岡山県中央児童相談所2人 岡山県医療推進課1人・障害福祉課1人 岡山市こども総合相談所1人 旭川児童院4人 計16名参加。

検討課題: 旭川荘療育医療センター待機登録者の現状報告。

ポストNICU病棟の紹介

長期入院児を抱える病院スタッフと福祉職員、行政職員と顔の見える関係が構築できた。今年度、病院からの旭川児童院への受入れは4人であった。今後も定期的な会議の開催を行い NICU からの地域移行や、病院から自宅ではなく、病院から施設そして自宅という流れの検討を行っていききたい。また、岡山県地域医療再生計画に基づき、ポストNICU機能、入院機能、親子入院機能等を持つ新病棟運営に反映させたい。

#### 受入れ状況 (H26.12～H27.3)

No	年齢	性別	入所形態	状態
1	5か月	女	一時保護委託(病院)	フォロー四徴症
2	2	男	措置入院(病院)	呼吸器
3	3	女	契約入院(病院)	呼吸器
4	17	男	契約入院(病院)	持続吸引 酸素
5	51	女	契約入院(在宅)	てんかん
6	18	男	契約入院(在宅)	てんかん

また、旭川児童院入所の待機登録児・者に状況確認と入所の時期についてアンケート調査した。平成26年4月末現在で95人の登録があった。87人から回答があった。現在の生活場所では自宅が63人、入院中6人、他施設に入所中14人、無回答4人であった。入所時期については早期に入所したい22人である反面、将来は入所したいが56人と大半を占めていた。

##### ② 短期入所情報交換会(事業内容 ②)

岡山県では呼吸器をつけた小児は医療型障害児入所施設(旧重症心身障害児施設)で短期入所を利用している。より身近なところで短期入所を利用したいと言う家族の声を地域の自立支援協議会が吸い上げてきた。また、過去に実施されたアンケート調査の結果でも、短期入所を利用したいが断られたことがある、利用したい時に利用できないことがある、日程の変更を求められたなど利用に関する問題があった。このような現状から、4か所の一般の病院が福祉サービスの短期入所事業所として指定を受けた。

そこで、短期入所に関する情報交換会を2回開催し運営方法や、重症児者の医療と看護について検討した。

参加者 医療型障害児入所施設(旧重症心身障害児施設 3 か所 ・旧肢体不自由児施設 1 か所・一般病院(小児科病棟・内科病棟・HCUなど)4 か所であった。

参加者の中には今後、短期入所事業に取り組む病院関係者の参加があった。

また岡山県が平成 26 年度、さらなるレスパイト施設の拡充を目指す「重症心身障害児者と家族の安心サポート事業」が新設した。岡山県障害福祉課と合同の情報交換会や研修会を実施した結果、新たに3か所の事業所が誕生した。

国土地理院承認 平14総複 第149号



岡山県

短期入所施設

	施設名	住所	電話	FAX
1	旭川療育園	岡山市北区祇園 866	086-275-1881	086-275-3800
2	旭川児童院	岡山市北区祇園 866	086-275-4518	086-275-9323
3	南岡山医療センター	都窪郡早島町早島 4066	086-482-1121	086-482-3883

4	倉敷中央病院	倉敷市美和 1-1-1	086-422-0219	086-421-3424
5	サンサポートつやま	津山市田町 27	0868-22-5104	0868-22-5105
6	新見中央病院	新見市新見 827-1	0867-72-2110	0867-72-2036
7	津山中央病院	津山市川崎 1756	0868-21-8111	0868-21-8200
8	光生病院医療型短期 入所サービスおもいや り	岡山市北区厚生町3 -8-35	086-222-6806	086-225-9506
9	井原市民病院	井原市井原町 1186	0866-62-1133	0866-62-1275
10	短期入所事業所 いるかの家	浅口市寄島町 16089-16	0865-54-2001	0865-54-2701

短期入所は、福祉施設、一般病院、老人保健施設、それぞれにおいて様々な形態で実施している。関係者が一堂に会して情報交換することができた。今後も更なる病院の拡大を図り利用しやすい制度にしていきたい。また、福祉情報誌の情報をホームページに載せ、情報の更新をしている。新たな事業所にも情報提供してもらい、ホームページの情報を更新していきたい。

今年度は、短気入所中の医療行為についても意見交換した。処置や衛生材料については短期入所施設の持ち出しとなっていることから、多くの短期入所利用者がいる場合、施設の経営にも影響してくる。岡山県における、超重症児(者)の在宅医療推進のために、この問題を平成 27 年度も継続して取り組んでいきたい。

## (2) 研修の実施

### ①訪問看護ステーションスタッフ研修(事業内容 ③④)

訪問看護ステーションスタッフの研修を4回開催した。参加者は看護師、PT、OT、ST 等であった。

また、重症児者を対象とする日中活動事業所の看護師が参加した。

	内容	講師	参加者
1	重症児者の疾患と病態について	医師	25 人
2	重症児者のリハビリについて	PT	39 人
3	重症児者の咀嚼・口腔衛生について	歯科医師 歯科衛生士	18 人
4	重症児者の呼吸器管理について	医師	26 人

### ②相談支援事業所へのアンケート(事業内容 ③)

平成 27 年度から福祉サービスを利用するにはサービス等利用計画が必要となる。サービス等利用計画を作成する相談支援専門員の重症児に対する理解、計画立案時の困難などアンケートした。

医療ニーズが高く、本人の意思が確認できない、利用できるサービスが少ないなど困難な状況がうかがえる。

今後は、相談支援専門員の重症児に対する理解を深める研修を企画していきたい。

### (3) 患者・家族や小児等の在宅医療を支える関係者を対象にした支援の実施 (事業内容 ⑤⑥)

コーディネーターを配置し、24 時間電話や訪問による相談に応じた。様々な会議の開催や研修会を通じて、家族からの相談だけでなく、関係機関(病院の MSW、児童相談所、こども総合相談所、支援学校など)からの相談が増えてきている。

#### **(4) 今後の課題**

事業開始から2年が終了した。医療ニーズに対応できる支援者を増やす研修を行い、重症児者のニーズに沿った看護や福祉サービスの支援の広がりが見られた。

今後も、継続し訪問看護スタッフ研修を行い重症児者の理解促進を進めたい。  
また、地域で生活しやすい環境づくりが大切と考えるため、医療・福祉・教育との連携モデルを構築したい。